

「うみかぜセミナー：発達障がいと遊び、学び」のご案内

滋賀県立大学子ども未来応援プロジェクトでは、子どもたちの健やかな育ちを応援するため、さまざまなとりくみをおこなってきました。発達心理学、栄養学、助産学分野の研究をはじめ、母子支援活動を進めて、子育てに携わっているみなさんと幅広く連携していきたいと考えています。今年度も「うみかぜセミナー：発達障がいと遊び、学び（全3回）」を開催することになりました。本セミナーでは、主に保育士や教員、臨床発達心理士など子育て支援にかかわる方々を対象に、「保育と発達支援の専門性」を高める研修の場となることをめざしています。上記専門職以外で関心をお持ちの方々、当事者／保護者のご来聴も歓迎いたします。

<セミナー実施日程>

第1回 2011年11月20日(日) 木村 順氏(作業療法士、療育塾ドリームタイム主宰) 講演

「育てにくい子にはわけがある」

第2回 2011年12月17日(土) 赤木和重氏(神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授) 講演

「楽しい保育・楽しい授業と特別支援教育」

第3回 2012年 2月18日(土) 神谷栄司氏(京都橋大学人間発達学部教授) 講演

「子どもの『遊びにくさ』をどうのりこえるか——生活と発達の障害」

第2回は下記の内容でおこないます。

楽しい保育・楽しい授業と特別支援教育

赤木和重氏(神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授)

講師プロフィール

京都大学教育学部から滋賀大学大学院教育学研究科修士課程、神戸大学大学院総合人間科学研究科博士後期課程を修了し(博士・学術)、三重大学教育学部勤務を経て、2010年10月から上記の所属となりました。専門は発達臨床心理学。子どもにおける自己とコミュニケーションの発達を研究テーマとし、主として自閉症を対象とした研究に取り組んでこられました。自閉症への早期支援のあり方についてもさまざまな教育プログラムの特徴を「人間発達」の視点から吟味してこられました。本講演では、スキル行動や問題行動の改善に重視がおかれがちな特別支援教育を「楽しい保育・授業」という点からとらえなおすようなお話をさせていただきます。

《主な著書》

- 村上 公也・赤木 和重「キミヤーズの教材・教具」(クリエイツかもがわ)
- 赤木 和重・社会福祉法人コスモス「見方が変われば願いが見える—保育・障害者作業所の実践を拓く」(クリエイツかもがわ)
- 赤木 和重・佐藤 比呂二「ホントのねがいをつかむ—自閉症児を育む教育実践」(全国障害者問題研究会出版部) など。

日時：2011年12月17日(土) 13時30分～15時30分

会場：滋賀県立大学交流センター1階研修室

参加費：無料(事前登録も必要ありません。)

▼ JR彦根駅からバスで13分/タクシーで8分 ▼ JR彦根駅からバスで16分/タクシーで10分



主催：滋賀県立大学子ども未来応援プロジェクト
障がいのある子と保護者の共助サークル「みんなあつまれ」
滋賀県立大学人間文化学部人間関係学科
後援：日本臨床発達心理士会京都・滋賀・奈良支部
＜問合せ先＞ 滋賀県立大学子ども未来応援プロジェクト
〒522-8533 彦根市八坂町 2500
滋賀県立大学人間文化学部 竹下秀子研究室気付
子育て応援うみかぜ
Tel: 090-7343-2405 Fax: 0749-28-8559
E-mail: usp-umikaze@nifty.com
URL: <http://umikazesub.jp/kodomo/home.html>